



令和7年3月4日

各位

株式会社松浦機械製作所
代表取締役社長 松浦勝俊

DX 戦略 推進活動報告（2023-2024 年度）

2021年5月に策定しましたDX戦略について、2023-2024年度における推進活動の成果・進捗を以下の通り、報告致します。

1. はじめに

当社は人口減少の急激な変化に対応しつつ、お客様へのサポートを十分に供給できる体制を強化することを目指し活動を行っています。

2. DX 戦略概要とその進捗

① 動画制作能力の強化

1) 目標

動画撮影・編集できる人材をDX推進室で育成し、各本部で以下の様に動画活用を推進します。

- 販促用動画の供給体制を強化。営業販促資料（ユーザーインタビュー・カタログ）を電子化・動画化してオンラインで公開。
- 採用活動の動画利用促進。動画で分かる社員・業務紹介。
- 組立・メンテナンス手順書の動画化。海外子会社・代理店のトレーニング効率化。

2) 成果・進捗

社内の各部署で動画制作のできる人材を維持しており、組立本部では作業手順ガイダンスや安全衛生教育、品質本部ではお客様向けのメンテナンス手順に関する動画を主に制作しています。DX推進室は未来戦略室と名称を変更し、販促や採用活動に関する動画の制作を継続しています。

今まで作成してきた約30個の採用活動用の動画を活用し、当社リクルートサイトに動画まとめページを2025年に新たに追加作成します。動画による各職場の業務理解の促進を図り、採用力の向上を図ります。また、会員制サイトMyMatsuuraでは引き続き、設備機の自動化・無人化に向けた操作マニュアルやメンテナンス手順など、効率的な工場運営に役立つ情報を動画・画像を随時追加しております。さらなる使い勝手向上と将来的な機能追加に備えて、2025年にサーバー移転、2026年に一次リニューアルを計画しています。

② 社内業務の効率化

1) 目標

社内システムを最適化し、品質の安定化と業務の効率化をはかり、高い信頼性の機械を迅速に出荷する体制を構築します。そのために、製造から事務まで一気通貫したシステム上の情報連携を展開し、データによる定量評価にこだわった見える化を実現します。

2) 成果・進捗

システムベンダーとの今までの要件定義結果を基に、複数のシステムを一括で刷新する方針から段階的に刷新する方針に変更しました。将来的な全体最適のシステムの実現に向けて、現在は最上流の設計の PLM の刷新を進めています。BOM システムの標準化とモジュラーデザインの導入により、共通部品表の活用を促進し設計の効率化を図ります。同時に、新たに作成する部品表を基に中間品活用による短納期対応を見据えた生産システムの検討を進めます。2025 年 10 月に新 PLM が稼働開始する予定です。

③ デジタル技術を利用したキーテクノロジーの進化

1) 目標

マツウラの工作機械の強みである自動化・高速高精度・使いやすさのキーテクノロジーに AI や IoT のデジタル技術を組み込み、新製品に高付加価値を創出します。そのために、AI 機能に特化したエンジニアを育成し、新設した要素技術開発チームで技術開発を行います。

2) 成果・進捗

2022 年に 10 年ぶりに操作画面システムの刷新を行い、2023 年 7 月には新オペレーティングシステム **MiOS4.0** を正式リリースしました。また、同年 3 月に **MiOS 4.1**、同年 7 月に **MiOS 4.2**、2025 年 1 月に **MiOS 4.3** と継続的なバージョンアップを実施しております。**MiOS 4.4** では、加工時間予測、工具寿命予測等の機能について高度化の開発に取り組み、2025 年 7 月のリリースを予定しています。今後も操作性向上による作業負荷低減と安心・確実な無人運転を実現するために、**MiOS** のプラットフォームをベースとした機能開発とデジタル技術の進化を推進してまいります。

以上